

スマイルなんぶ通信 No.26

「なんぶ健康会議」に関わる課・組織が情報をお伝えします。今回の担当は「住民課」です。

Q 医療費を節約する方法ってあるの？



A 医療機関のかかり方や薬との付き合い方を見直すことが有効です。医療費は増加傾向にあり、このまま増え続けると健康保険料などの引き上げも考えられます。そうならないためにも医療費の節約を！

休日、夜間の受診は割増料金がかかります。緊急性が高いのかどうか、よく考え受診しましょう。



同じ病気で、複数の医療機関で受診する重複受診は医療費を増やし、治療に支障がでることがあります。



必要以上に薬を欲しがらないようにしましょう。薬がたくさん余ったら、お医者さん・薬剤師さんに相談しましょう。



病気は自覚症状なく進行することも少なくありません。健康診断は年に1回必ず受診しましょう。



※お詫びと訂正

広報4月号でスマイルなんぶのページで高血圧教室の開催が10月10日(木)となっておりましたが、10月19日(木)の間違いです。お詫びして訂正いたします。

図 書 館

●わくわくお話し会

6月3日(土) ひよこの会
午後1時30分～2時30分

●乳幼児リトミック教室

6月7日(水)

午前10時30分～11時30分
講師：佐野貴子先生/長洞まゆ先生

●乳幼児お話し会 のんたんのへや

6月14・21・28日(水)

午前10時30分～11時30分

●折り紙教室 講師：甲州文庫連絡会(甲府市)

6月18日(日) 参加費：無料

午後1時30分～2時30分

甲州文庫連絡会、会員の皆様による楽しい折り紙教室です。

●図書館 映画会

6月24日(土)(入場無料)

午後3時～4時「マダガスカル」



6月18日(日)「折り紙教室」があります。

甲州文庫連絡会・会員の皆様が楽しい折り紙教室をひらいてくれます。出来上がりが楽しみ！
お友だちをさそって来てください。

【図書館サービスのお知らせ！】

平成29年4月1日から南部町立図書館において
【広域返却サービス】を開催しました！

(内容) 山梨県立図書館は、新館開館当初から、県立で借りた資料を、地元の市町村立図書館で返却できないかというご意見を多数いただいていた。そこで、昨年5月より「広域返却サービス」として、市町村立図書館で試行した結果、今年度より南部町立図書館も返却の受け取り館となりました。

南部町の皆様、ぜひこのサービスをご活用下さい。



県立図書館で借りた本



南部町立図書館に返却・OKです！

美 術 館 特別展 開催中！



第十三回国際墨彩画展

会 期 2017年5月26(金)～6月11日(日)

休館日(月曜日) 午前9時30分～午後5時

会 場 近藤浩一路記念南部町立美術館(巡回展)

主 催 国際墨彩画美術協会 会長 大川原潤

共催／中国吉林省芸術学院美術院、中国吉林省長春市美術協会
後援／日本外務省、文化庁、中国駐日本国大使館、(公社)日中友好協会、山梨県、甲府市、山梨日日新聞社、朝日新聞甲府総局、読売新聞甲府支局、毎日新聞甲府支局、山梨新報社、山梨放送、テレビ山梨、(株)日本ネットワークサービス

【早蕨作品展】

★多くの方にご来場いただきました。

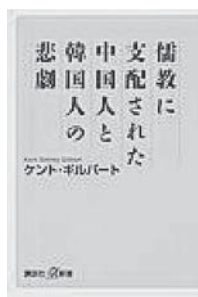
ありがとうございました。

4月2日(日)から4月30日(日)まで早蕨会会員による作品展が開催されました。個々がテーマを持って描いた見事な作品は訪れた人たちに感動を与えました。



新刊 話題本 図書 紹介コーナー

新刊



講談社



文藝春秋



勁草書房



講談社



岩波書店



実業之日本社



山と溪谷社



誠文堂新光社



朝日新聞出版



医学書院



文藝春秋



ポプラ社

【話題本の紹介】

★岩波文庫より近藤浩一路画伯の作品が復刻版として登場！

夏目漱石の代表作『坊っちゃん』『吾輩は猫である』が、近代日本漫画の開拓者・近藤浩一路が飄逸にして諧謔味溢れる漫画にしたのは、大正7年のこと、それは漫画と文章を一体化させた「漫画漫文」と称する漫画スタイルでありました。美術館においても初版本を展示していますが、このほど岩波文庫より、夏目漱石生誕150年を記念して復刻版となり、購入が可能となりました。まるで文化館の開館20年に合わせたような記念すべき再版。解説には美術館の紹介もされています。ぜひ、ご覧下さい。



【内容紹介】

猫の眼から描かれた、苦沙弥先生をはじめとする人間たちの織りなす珍談・奇談の数々。近代漫画の開拓者・近藤浩一路のユーモアあふれる画と、各画に添えられた滑稽味ある達意の文で、近代文学の古典を楽しめます。



【内容紹介】

夏目漱石の「坊っちゃん」を、近藤浩一路が飄逸にして漫画とした一冊。坊っちゃんの活躍が、画と文を通して存分に楽しむことができます。清水薫氏による解説も掲載されています。